

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
101

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)

● 1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO; アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始め。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。
● JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

村の中学生たちの日常

MoiMoi Life in Siem Reap Life of junior high school students in the village

About 200 students enroll in Bayon Junior High School every year; more than 10 percent drop out halfway. Some disappear right before their graduation, being forced to work to cover their parents' dept. Most students take care of household chores and work before or after school. Many students work at restaurants or gift shops near Angkor ruins or make souvenir goods at home. A girl, who studies at school from 7am to 12pm, does chores in the afternoon and go out to work at night. One male student works under the sun digging fields. His family depends on his income. He likes using machines and hopes to be an engineer in the future. In spite of their situation, they seem to enjoy school life. The future of these truly strong youngsters is bright.

毎年、200人ほどの生徒が入学してくるバイヨン中学校ですが、3年間で1割以上の生徒が退学していきます。卒業まであと2〜3カ月という時期に退学する生徒も

いて、そのようなケースでは、大抵、親が抱えるローン返済のために直ちに働かなければならぬ、という切羽詰まった状況に追い込まれています。

そこまで至らなくても、ほとんどの生徒は、家では家事全般を任せられ、また、外で働いて賃金収入を得ながら学校に通っています。アンコール遺跡群に近いことから、遺跡内でお土産屋や飲食屋台での仕事に就いている生徒も多く、また、観光客向けのプレスレットなどを内職として家でつくり、そのわずかな利益で生活している生徒もいます。

シエムリアップ中心部にあるナイトマーケットで夕方5時から夜11時まで働いている女子生徒の場合は、朝7時〜昼12時は学校、帰宅後は家の手伝いをし、夕方はバイクで片道30分かけて職場まで通う、と

いう生活。就寝は夜中の1時すぎとなり、朝6時には起床する毎日だそうです。

放課後、耕運機で田畑を耕す請負業をしている男子生徒の場合は、「毎日、炎天下での肉体労働で、暗くなるまで働くのは疲れるし、楽しい仕事ではないのですが、僕の家はこの仕事で得られる収入で成り立っている。働かなくてはなりません」とのこと。つらさをにじませていましたが、「機械を直したり、使ったりすることが好きなので、将来はエンジニアになりたい」と目を輝かせながら語っていたのが印象的でした。

中学生を取り巻く環境の、日本とのあまりの違いに愕然としますが、彼らは、学校で学べることに、毎日友達と会えることに喜びを感じ、いつもにこやかに、学校生活を心から謳歌しているように見えます。苦難でさえも軽々と乗り越え、見ている側をも清々しい気持ちにさせてくれる…。そんな、生活力“半端ない”彼らの将来はいかに。数年後が楽しみです。